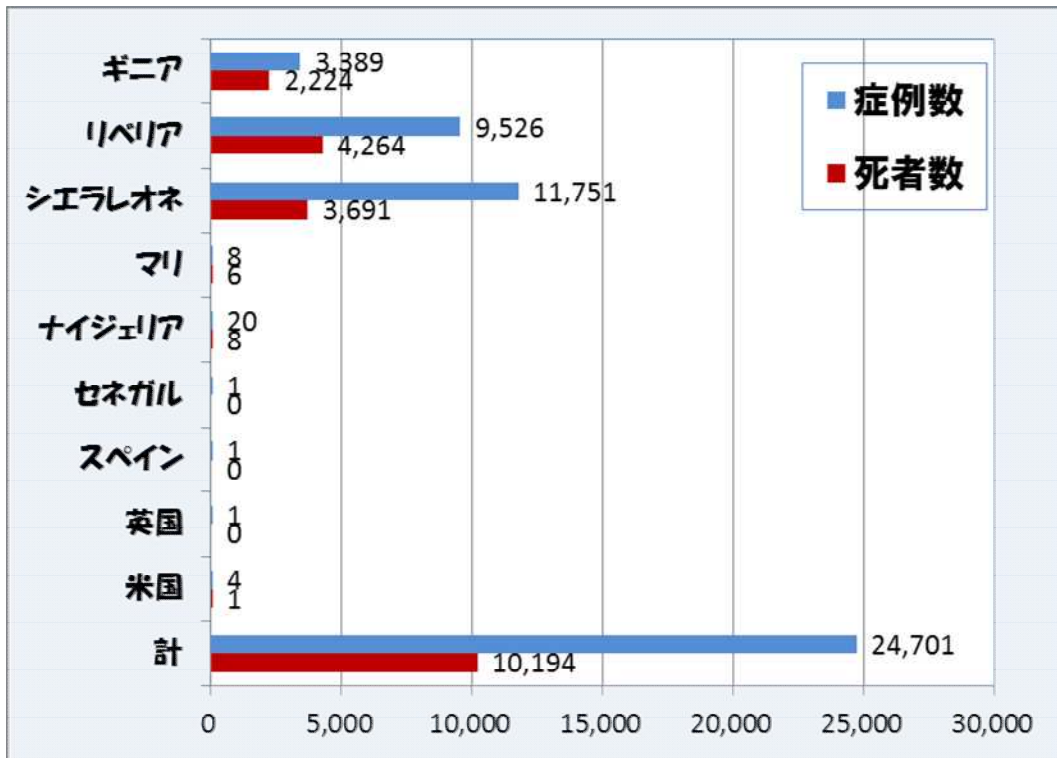


### エボラ状況報告 Ebola Situation Report

2015年3月18日

原文：<http://apps.who.int/ebola/current-situation/ebola-situation-report-18-march-2015>

症例数（死亡例を含む）（2015年3月15日現在の情報）



#### 概要

- 3月15日までの週に、エボラウイルス病（EVD）で合計150例の新規確定症例が報告（前週では116例）。ギニアでは95例の新規確定症例があり、2015年では国内での最も多い週別症例数。シエラレオネでは、同時期に、55例の新規確定症例数を報告（2014年6月下旬以降では国内では最も少ない週別症例数）。リベリアでは、3週間連続して新規確定症例の報告なし。リベリアで最後の患者がEVDの二次検査で陰性になってから、3月15日は12日目（EVDの感染が終息したと考えるには42日間の経過が必要）。
- 3月15日までの週に、ギニアとシエラレオネの合計12か所の地区が確定症例を報告。地理的に隣接しているすべての地域は、北部のコナクリ（ギニア）と南部のフリータウン（シエラレオネ）の間。さらに4か所の地区では、過去21日間に確定症例を報告（シエラレオネ中東部にあるコノ（Kono）およびトンコリリ（Tonkolili）とギニア東部のロラ（Lola）とマセンタ（Macenta））。
- 現在、感染は比較的地理的に狭い地帯に限られているが、地区や国の周辺一帯の至る所で、大勢の移動があり、住民が頻繁に行き来している。症例や接触者の行動を制限することは挑発的であるが、新規の症例発生の種をつむぐために重要。

- ギニアで鍵となる対応には、感染が制御されるまでに克服すべき重要な課題が残っていることを示唆。3月15日までの週に、EVDによる死亡が報告された41例のうち、半数以上(23例)が地域での死後に確認。3月8日までの週に、確定症例の小数例(28%)は登録された接触者から発生し、衛生的でない埋葬により18例が報告。合わせて考えると、これらの事象はギニアでの発生は今もなお未知の感染経路によって引き起こされていることを示唆。
- リベリアでは、3月15日までの週に、EVDで125例の疑い症例が報告されたが、EVD検査陽性例はなし。最後の未知感染経路と関係のあるすべての接触者は、現在、21日間の追跡調査を完了。
- ギニアと対照的に、シエラレオネでの鍵となる対応の指標は、より期待ができる見通し。3月8日までの週に、確定症例の三分の二以上(67%)は、登録された接触者から発生。3月15日までの週に、EVD確定死亡例の62例中6例は地域で死後に確認。同期間中に、衛生的でない埋葬による死亡例が1例あり。しかし、大部分の新規症例が未知の感染経路により発生している地域あり。ギニアのフォアカリア (Forecariah) 県との国境に面しているフリータウン北部地区のカンビア (Kambia) 地区では3月8日までの週に7例の新規症例を報告し、そのうち5例は地域で死亡し、かつ、既知の症例との接触者であることが知られていなかった例で、死後の検査による。
- 適当な時と場所でエボラ治療センターと地域医療センターが安全に撤去するためのガイドラインを仕上げるために、3月14日～15日にフリータウンで会議が開催。
- 3月15日までの週に、11例の医療従事者の新規感染者が報告 (ギニアではコナクリで3例とフォアカリアで1例、シエラレオネでは7例:ボンバイ4例とポルトロコ3例)。この結果、事例発生後3か国の最も被害のあった国で報告された医療従事者の感染者の合計は、852例、死者は492例に至る。その他に、3月15日までに、2例のEVD陽性医療従事者と1例の濃厚接触者が、デンマーク、英国および米国で、医学的な評価を受けた。

滋賀県衛生科学センター内  
健康危機管理情報センター (仮訳)